株主の皆様へ

第97期

報告書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

東洋建設株式会社

株主の皆様へ

当期における我が国経済は、雇用・所得環境に改善がみられるなど、緩やかな回復基調が継続したものの、海外の政治・経済動向に対する懸念が増すなど、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

建設産業におきましては、公共投資は前年度から概ね横ばいで継続し、民間設備投資は、製造業を中心に堅調に推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは平成28年度を最終年度とする中期経営計画の達成に向け、これまでの基本戦略に「民間営業力の強化及び海外事業の収益安定確保に向けた体制の構築」を加え、各事業において重点施策の更なる推進を図ってまいりました。

当社グループの国内土木事業におきましては、港湾・空港等のインフラ整備をはじめ、防災・減災対策及び民間設備投資関連工事の受注及び施工に注力してまいりました。

国内建築事業におきましては、堅調な設備投資を背景に物流センター、工場、医療福祉施設などの受注及び施工に注力してまいりました。

海外建設事業におきましては、発注時期の遅れにより、新規プロジェクトの受注に至らなかったものの、フィリピン、ベトナム、ミャンマーにおいて豊富な手持工事の施工に注力いたしました。

これらの結果、連結売上高1,525億円、営業利益71億円、経常利益63億円、親会社株主に帰属する当期純利益は43億円となりました。

また、期末配当金につきましては、当期の業績及び今後の事業展開を総合的に勘案し、1株当たり12円とさせていただきました。

今年度から、「安定した収益確保による経営基盤強化と、変化への果敢な挑戦によって更なる発展を目指す」を基本方針とする新たな中期経営計画がスタートいたします。当社は2年後の創立90周年はもとより、その先の創立100周年に向けて一段の飛躍をしなければなりません。そのために、我々役職員が一丸となって更なる社業の発展に努力してまいりますので、皆様からのご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

平成29年6月

代表取締役社長　武澤恭司

多数の海上工事が進捗する国内土木事業

国内土木事業では、国際コンテナ戦略港湾や那覇空港滑走路拡張事業など、多くの海上工事が発注され、当社も全国各地で施工しております。これらの工事は大型かつ技術的に難易度が高い工事であり、当社が活躍する場面はますます広がっていくものと考えております。

●横浜港（神奈川県）

南本牧ふ頭地区のコンテナターミナルの岸壁を造っています

●那覇空港（沖縄県）

空港の埋立てには、当社の第二東揚号が活躍中

インフラ事業へ貢献する海外事業

海外事業におきましては、2013年（平成25年）11月に着工したベトナムのニソン製油所取排水施設他工事が昨年11月に完成しました。また、同じくベトナムのラックフェン港航路浚渫工事（パッケージ8）とミャンマー・ティラワ港コンテナターミナル建設工事は、多くの作業船が投入され、工事は最盛期を迎えています。今後も安全と品質管理に万全を期して、工事を進めてまいります。

完成した海水取水施設（ニソン製油所）

多数のグラブ浚渫船が並んでいます（ラックフェン港）

ジャケット据付けのための鋼管杭を打設しています（ティラワ港）

着実に実績を積み上げる国内建築事業

国内建築事業は、注力4分野（工場・倉庫・医療福祉・住宅）の受注に向けて積極的な営業活動を展開してまいりました。当期の国内建築事業の受注高は、499億円と前年度から僅かながら減少いたしましたが、高い水準を維持しております。また、設計施工案件の比率も高く、これからもお客様の問題解決やニーズに即応していくことで、更に信頼を高め受注に結びつけてまいりたいと考えております。

●（仮称）蓮田ロジスティクスセンター新築工事

完成予想図

●社会福祉法人健誠会（仮称）永福南福祉アカデミー新築工事

完成予想図

●（仮称）浦和東仲町Ⅱ計画新築工事

完成予想図

●独立行政法人国立病院機構小倉医療センター外来管理診療棟建替整備工事（建築Ⅰ期・解体Ⅰ期）

完成予想図

経済ミッションへの参加

武澤社長は、日本政府の経済ミッションの一員として安倍首相の海外歴訪に同行いたしました。昨年8月には、ケニアで開催された第6回アフリカ開発会議（TICADⅥ）に、また本年1月にはインドネシアでの二国間首脳会議に出席し、当社の施工実績をアピールいたしました。両国では、当社の施工品質に対する評価が非常に高く、武澤社長が両国首脳に直接アピールすることで、当社のプレゼンスが一層高まったと考えております。

日・アフリカ官民インフラ会議でスピーチをする武澤社長（ケニア）

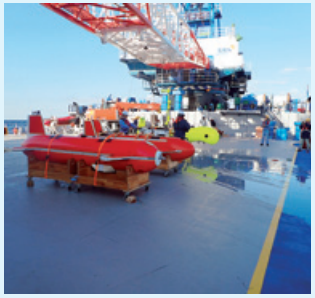
インドネシアで二国間首脳会議に臨む武澤社長（左から2人目）

AUGUST EXPLORERが様々な海域で活躍

昨年8月に完成した自航式多目的船「AUGUST EXPLORER」は、習熟訓練を兼ねた9月の日本海沖の魚礁据付に続き、様々な海域で活躍しています。11月に国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所が研究している「複数AUV（自律型無人潜水機、Autonomous Underwater Vehicle）と洋上中継器の同時運用による熱水地帯での全自動海底調査」に支援船として参加したほか、12月には和歌山沖で、GPS波浪計の更新作業に就役しました。

AUGUST EXPLORERの、従来の海上工事に留まらない多方面での活躍にご期待ください。

日本海隠岐島沖での魚礁据付の様子


デッキ上に並ぶAUV

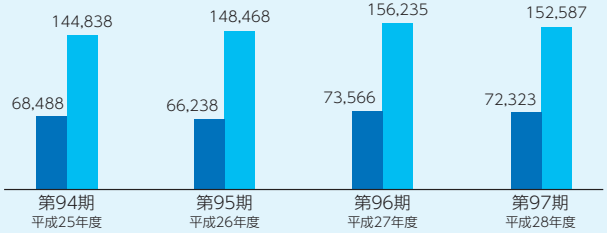
老朽化したGPS波浪計を吊上げ、回収します

平成29年3月期の連結業績概況

売上高

152,587百万円
(前期比　2.3%減)

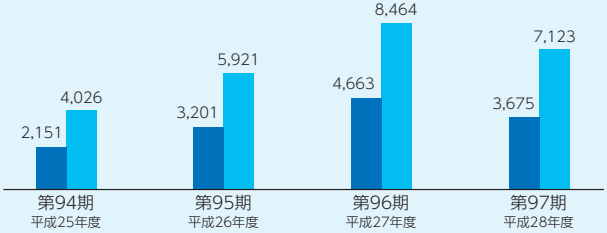
(単位：百万円)　■第2四半期　■通期



営業利益

7,123百万円
(前期比　15.8%減)

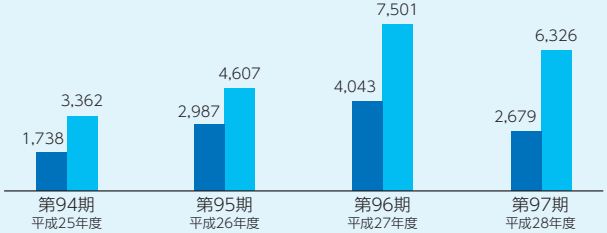
(単位：百万円)　■第2四半期　■通期



経常利益

6,326百万円
(前期比　15.7%減)

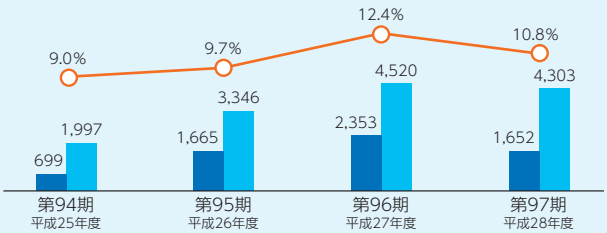
(単位：百万円)　■第2四半期　■通期



親会社株主に帰属する当期純利益

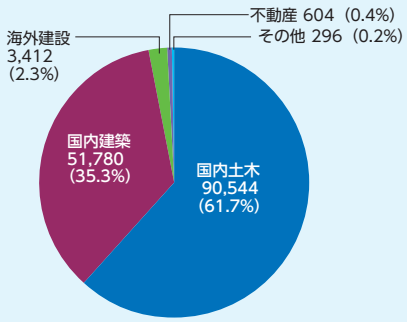
4,303百万円
(前期比　4.8%減)

(単位：百万円)　■第2四半期　■通期　ROE



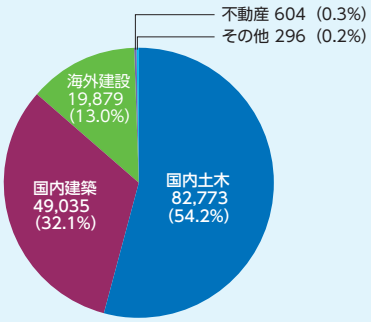
セグメント別連結受注高

(単位：百万円)



セグメント別連結売上高

(単位：百万円)



今後の経営施策

当期の主な受注・完成工事

●受注工事

	発注者	工事名	工事場所
土木	国土交通省	小名浜港東港地区岸壁（−18m）（耐震）上部工事	福島県いわき市
	国土交通省	東京国際空港A滑走路高速脱出誘導路他排水施設改良工事	東京都大田区
	沖縄総合事務局	那覇空港滑走路増設4工区埋立工事	沖縄県那覇市
	茨城県	次期処分場護岸築造工事（北その2）	茨城県ひたちなか市
	今治造船株式会社	西ひうち埋立整備工事	愛媛県西条市
建築	野村不動産株式会社	（仮称）浦和東仲町Ⅱ計画新築工事	埼玉県さいたま市
	オリックス株式会社	（仮称）蓮田ロジスティクスセンター新築工事	埼玉県蓮田市
	社会福祉法人健誠会	社会福祉法人健誠会（仮称）永福南福祉アカデミー新築工事	東京都杉並区
	今治造船株式会社	船型開発センター新築工事（建築工事）	香川県丸亀市
	独立行政法人国立病院機構小倉医療センター	独立行政法人国立病院機構小倉医療センター外来管理診療棟建替整備工事（建築Ⅰ期・解体Ⅰ期）	福岡県北九州市

●完成工事

	発注者	工事名	工事場所
土木	国土交通省	釜石港湾口地区湾口防波堤（災害復旧）（北堤）築造工事	岩手県釜石市
	国土交通省	大阪港北港南地区岸壁（−16m）（C12延伸）築造工事	大阪府大阪市
	沖縄総合事務局	那覇空港滑走路増設護岸W工区築造工事（第3次）	沖縄県那覇市
	東京都	新宿区河田町、市谷本村町付近再構築工事	東京都新宿区
	中部電力株式会社	畑薙第一（発）ダム放水管前面浚渫工事	静岡県静岡市
建築	ビー・ブラウンエースクラップ株式会社	ビー・ブラウンエースクラップ株式会社栃木工場新築工事	栃木県栃木市
	株式会社ライフコーポレーション	加須プロセスセンター新築工事	埼玉県加須市
	株式会社シーアールイー	ロジスクエア久喜新築工事	埼玉県久喜市
	株式会社ＯＭこうべ	（仮称）「京コンピュータ前」駅前パイロットビル新築工事	兵庫県神戸市
	国立大学法人熊本大学	熊本大学（本荘北）臨床研究棟新営その他工事	熊本県熊本市

今後の我が国経済におきましては、海外の政治・経済動向に対する懸念など、景気を下押しするリスクに引き続き留意する必要があるものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復基調の継続が予想されます。

建設産業におきましては、社会資本の維持・整備及び地域社会の安全・安心を確保するための各種事業の継続に加え、民間設備投資においても、製造業を中心に底堅く推移すると見込まれております。

このような状況のなか、当社グループは、平成29年度を初年度とする新たな3ヵ年の中期経営計画を策定し、基本戦略及び事業別戦略に掲げた諸施策を確実に実行することにより、将来の環境変化への対応力を高め、中長期にわたって安定した収益力を継続してまいります。

中期経営計画《Challenge to a new stage》

基本方針

> 安定した収益確保による経営基盤強化と
> 変化への果敢な挑戦によって更なる発展を目指す

達成目標

- ■3ヵ年での連結営業利益　245億円以上
- ■3年後連結営業利益率　5.0%以上
- ■3年後単体純資産　500億円以上

基本戦略

①基幹3事業（土木・建築・海外）の確実な発展による強靭な経営基盤の構築
②人材育成、技術力強化による生産性の向上
③グループ各社との相互連携強化によるグループ収益力の向上
④環境変化に即応できる機動的な組織への変革
⑤ガバナンス体制とリスクマネジメント力のより一層の強化

第98期（平成30年３月期）の連結業績予想

売上高	1,823億円
営業利益	75億円
経常利益	71億円
親会社株主に帰属する当期純利益	48億円
期末配当	12円

主な完成工事（土木）

大阪港北港南地区岸壁（－16m）（C12延伸）築造工事

釜石港湾口地区湾口防波堤（災害復旧）（北堤）築造工事

那覇空港滑走路増設護岸W工区築造工事（第3次）

畑薙第一（発）ダム放水管前面浚渫工事

新宿区河田町、市谷本村町付近再構築工事

主な完成工事（建築）

ビー・ブラウンエースクラップ株式会社栃木工場新築工事

加須プロセスセンター新築工事

ロジスクエア久喜新築工事

熊本大学（本荘北）臨床研究棟新営その他工事

（仮称）「京コンピュータ前」駅前パイロットビル新築工事

連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成29年3月31日現在)

(単位：百万円)

科　目	金　額	科　目	金　額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	**98,392**	**流動負債**	**81,308**
現金預金	21,946	支払手形・工事未払金等	41,718
受取手形・完成工事未収入金等	52,409	短期借入金	11,003
未成工事支出金	10,958	未払法人税等	1,228
販売用不動産	156	未成工事受入金	11,909
繰延税金資産	1,082	預り金	5,421
立替金	5,267	完成工事補償引当金	189
その他	6,590	工事損失引当金	741
貸倒引当金	△ 17	賞与引当金	905
固定資産	**39,628**	その他	8,191
有形固定資産	**33,395**	**固定負債**	**14,597**
建物及び構築物	13,176	長期借入金	5,311
機械、運搬具及び工具器具備品	25,238	繰延税金負債	72
土地	22,591	再評価に係る繰延税金負債	2,229
建設仮勘定	1	引当金	49
減価償却累計額	△ 27,612	退職給付に係る負債	6,452
無形固定資産	**230**	その他	482
投資その他の資産	**6,002**	**負債合計**	**95,905**
投資有価証券	2,999	(純資産の部)	
繰延税金資産	2,118	**株主資本**	**39,385**
退職給付に係る資産	8	**資本金**	**14,049**
その他	2,040	**資本剰余金**	**6,052**
貸倒引当金	△ 1,163	**利益剰余金**	**19,443**
		自己株式	△ **159**
		その他の包括利益累計額	**1,906**
		その他有価証券評価差額金	567
		繰延ヘッジ損益	△ 1
		土地再評価差額金	2,702
		為替換算調整勘定	△ 10
		退職給付に係る調整累計額	△ 1,352
		非支配株主持分	**823**
		純資産合計	**42,116**
資産合計	**138,021**	**負債純資産合計**	**138,021**

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結損益計算書 (平成28年4月 1日から 平成29年3月31日まで)

(単位：百万円)

科　目	金　額	
売上高		
完成工事高	151,687	
兼業事業売上高	900	**152,587**
売上原価		
完成工事原価	136,985	
兼業事業売上原価	352	**137,337**
売上総利益		
完成工事総利益	14,701	
兼業事業総利益	548	**15,249**
販売費及び一般管理費		**8,125**
営業利益		**7,123**
営業外収益		
受取利息	43	
受取配当金	31	
貸倒引当金戻入額	61	
その他	40	177
営業外費用		
支払利息	282	
為替差損	301	
コミットメントフィー	110	
貸倒損失	117	
その他	163	975
経常利益		**6,326**
特別利益		
固定資産売却益	16	
負ののれん発生益	46	
受取保険金	35	
その他	10	109
特別損失		
固定資産除却損	127	
減損損失	60	
その他	7	194
税金等調整前当期純利益		**6,240**
法人税、住民税及び事業税	2,388	
法人税等調整額	△ 587	1,801
当期純利益		**4,438**
非支配株主に帰属する当期純利益		135
親会社株主に帰属する当期純利益		**4,303**

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

株式の概要 (平成29年3月31日現在)

株式の状況

発行済株式の総数	94,371,183株 (自己株式41,627株を含む)
株主数	21,803名

大株主の状況

株　主　名	持株数（千株）	持株比率（%）
前田建設工業株式会社	19,047	20.19
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	4,922	5.21
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	3,786	4.01
東洋建設共栄会	2,273	2.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	2,226	2.35
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	2,150	2.27
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,300	1.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口5）	1,184	1.25
第一生命保険株式会社特別勘定年金口	1,057	1.12
岩崎　泰次	1,023	1.08

（注）持株比率は自己株式（41,627株）を控除して計算しています。

役　員 (平成29年6月29日現在)

取締役

代表取締役会長		毛利茂樹
代表取締役社長	執行役員社長	武澤恭司
代表取締役	執行役員副社長	濱邉修一
取締役	執行役員副社長	川述正和
取締役	専務執行役員	森山越郎
取締役	専務執行役員	平田浩美
取締役	常務執行役員	河瀬伸幸
取締役	執行役員	郡司島尚
取締役		川﨑登志嗣
取締役		福田善夫

※川﨑登志嗣、福田善夫は社外取締役です。

監査役

常勤監査役	赤﨑兼仁
常勤監査役	丁子谷淳
常勤監査役	酒井雅士
監査役	牧瀬充典

※丁子谷淳、酒井雅士、牧瀬充典は社外監査役です。

執行役員

常務執行役員	木和田雅也
常務執行役員	池田健太郎
常務執行役員	髙橋武一
常務執行役員	工藤明賢
常務執行役員	藪下貴弘
常務執行役員	田邊俊郎
常務執行役員	浜﨑恭年
執行役員	岸川剛史
執行役員	橋本勝
執行役員	近石光正
執行役員	大柳聖一
執行役員	井上修
執行役員	春口喜与彦
執行役員	田中啓之
執行役員	藤原隆一
執行役員	井上卓郎
執行役員	大林東壽
執行役員	吉塚宏
執行役員	塚本雅志
執行役員	五十嵐志郎
執行役員	伊藤史朗
執行役員	安井祐輝
執行役員	鳥居秀哉

会社の概要（平成29年3月31日現在）

社名	**東洋建設株式会社**
英文名	TOYO CONSTRUCTION CO., LTD.
創立	昭和4年7月3日
資本金	14,049,367,174円
営業種目	土木建築工事の請負、建設コンサルタント、土地造成、地域・都市・海洋・資源エネルギー開発及び環境整備、公共施設の企画、管理運営、エネルギー供給に関する事業、不動産業、その他関連事業
従業員数	1,506名（連結）
URL	http://www.toyo-const.co.jp/

主要営業所（平成29年6月29日現在）

本社	東京都江東区青海二丁目4番24号 青海フロンティアビル 〒135-0064 ☎（03）6361－5450
本店	大阪市中央区高麗橋四丁目1番1号 興銀ビル 〒541-0043 ☎（06）6209－8711
北海道支店	札幌市中央区北5条西6丁目1番地23 第二北海道通信ビル 〒060-0005 ☎（011）272－3711
東北支店	仙台市青葉区中央二丁目9番27号 プライムスクエア広瀬通 〒980-0021 ☎（022）222－2281
関東支店	東京都江東区青海二丁目4番24号 青海フロンティアビル 〒135-0064 ☎（03）6361－5500
関東建築支店	東京都江東区青海二丁目4番24号 青海フロンティアビル 〒135-0064 ☎（03）6361－5552
横浜支店	横浜市中区山下町25番地15 フューチャー山下町 〒231-0023 ☎（045）212－6510
北陸支店	金沢市畝田東三丁目87番地 〒920-0344 ☎（076）268－4681
名古屋支店	名古屋市中区錦二丁目12番14号 MANHYO第一ビル 〒460-0003 ☎（052）221－7301
大阪本店	大阪市中央区高麗橋四丁目1番1号 興銀ビル 〒541-0043 ☎（06）6209－8711
中国支店	広島市東区光町二丁目6番24号 光町三上ビル 〒732-0052 ☎（082）205－5050
四国支店	高松市昭和町一丁目3番5号 〒760-0014 ☎（087）861－1184
九州支店	福岡市中央区薬院三丁目3番31号 六番館 〒810-0022 ☎（092）526－1040
国際支店	東京都江東区青海二丁目4番24号 青海フロンティアビル 〒135-0064 ☎（03）6361－5480
海外営業所	マニラ、ハノイ、ジャカルタ、ヤンゴン
技術研究所	鳴尾研究所（西宮市）、美浦研究所（茨城県稲敷郡美浦村）

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 TEL 0120－232－711（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL　http://www.toyo-const.co.jp/

（株式事務お手続き用紙の請求）
電話（通話料無料）0120－244－479（三菱UFJ信託銀行本店証券代行部）
0120－684－479（三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部）
（三菱UFJ信託銀行のホームページからもご請求いただけます。）
インターネットアドレス　http://www.tr.mufg.jp/daikou/

阪神甲子園球場に社名広告を掲出しました（1塁側フェンス）

プロ野球や高校球児の熱い戦いへの声援とともに、球場からほど近い「西宮市鳴尾浜」を発祥の地とする東洋建設の広告をご覧ください。

表紙写真：自航式多目的船「AUGUST EXPLORER」の勇姿。定点保持機能や広いデッキスペース、海水淡水化装置等を備え、3ヵ月無寄港での外洋作業を行えます。船名には「威風堂々とした開拓者」といった意味と願いが込められています。

夢から感動へ―ハートテクノロジー
東洋建設

UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

VEGETABLE OIL INK